

南部町教育行政施策の点検・評価

前へ…、前へ…、ひたすら前へ…、

南部町の教育 一步前へ…！

[添付資料]

- (1) 令和元年度南部町教育行政施策の概要
- (2) 令和元年度南部町教育行政施策に係る事業報告書（決算審査資料）

南部町教育委員会

〔2020/8/28〕

南部町教育行政施策点検・評価委員会 委員名簿

氏 名	性別	住 所	摘 要
原 田 雅 文	男	米子市錦町 2 丁目 258-4	学識経験者
杉 谷 早 苗	女	南部町西町 42	学識経験者
内 藤 眞 哉	男	南部町法勝寺 145	地域振興協議会
森 岡 紀 子	女	南部町福成 468	教育行政
伊 藤 静 也	男	南部町天萬 611	学校教育
石 原 司 子	女	南部町円山 118	社会教育

【任 期】 令和 2 年 4 月 15 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

令和元年度南部町教育行政施策の点検・評価

I. 教育委員会の現況

(1) 教育委員（令和元年3月31日現在）

職名	氏名	性別	年齢	住所	就任年月日	年数
教育長	福田 範史	男	59歳	南部町	H. 31. 04. 02	1年目
職務代行者	井上 憲司	男	72歳	南部町中 1092	H. 26. 12. 08	6年目
委員	板 真悟	男	43歳	米子市西福原 4-8-2	H. 27. 12. 09	5年目
委員	瀬田 啓道	男	45歳	南部町御内谷 1205	H. 28. 12. 08	4年目
委員	畠 美枝子	女	64歳	南部町清水川 167	H. 29. 12. 22	3年目

- (2) 会 議 定例会議： 12回（議案数 35件 ・ 専決処分数 14件）
 臨時会議： 2回（議案数 3件 ・ 専決処分数 1件）
 教育委員協議会： 2回

(3) 会議における委員提案及び報告 6件

- (4) 活 動 学校訪問・学校行事等参加 29回
 町内行事・研修会等参加 17回
 西部地区及び県研修会参加 5回
 県外視察研修 1回

令和元年度の南部町教育は、平成30年度に策定した「第Ⅱ期教育振興基本計画」及び新たな「教育に関する大綱」がスタートし、新しいステップとなる第Ⅱ期の創世の段階と位置付けてスタートしました。

社会では、情報化社会の次の社会としてソサイエティ 5.0 という新しい概念が示され、間近に迫った人生100年時代を見据え、社会構造の変化や技術革新は我々が未だ経験したことがないスピードで進む社会情勢による教育行政への影響も少なからず見えてきました。

さらに、年度途中に「平成」から「令和」へと元号が変わることに起因する期待感や高揚感、2020 東京オリンピックなど、社会全体の動きが勢いづいている状況の中で、南部町教育行政は、あえてこれまでの取り組みの成果をしっかりと検証しつつ、新しい時代に適応した教育を考えるタイミングにあると考えました。

例えば、ともすると高齢者の生涯学習ばかりと思われたり、見えにくくなったと言われたりする社会教育においては、その意義も含めて大きな転換期を迎え、本町で活躍を始めた高校生や青年はその中心となる年齢層として、その注目度も要求される資質能力も格段の創造性が求められ、その期待に応える自立した姿の具現化に努めました。

また、学校教育においても、令和2年度から順次実施される新学習指導要領では、変化する社会の中で学校が社会（地域）と連携・協働する「社会に開かれた教育課程」が明示さ

れ、学校の教育が学校だけに閉じたものにならないという方向性が学習指導要領全体に貫かれており、学習内容の増加分をどのような手法でクリアしていくのか、働き方改革と相反することとせずに組み立てる学校マネジメントの浸透を図りました。

しかし、昨年12月以降、中国河北省武漢市を中心に発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に全世界に広がり、日本国内でも感染者が増加の一途をたどり、3月末時点で国内罹患者1,494人となりました。世界規模ではパンデミックが起これ、感染経路や治療法など十分に解明されていない中で、2月末には国の全国一斉の休業要請を受け、長い教育制度の中で初めての全国一斉の休業措置が実施されました。

本町では、3月2日から17日までの期間を臨時休業、18日より再開し24日に町内5校すべてで修了を迎えました。

この間に計画されていた様々な行事の中止だけでなく、卒業式すらも限定的な開催となりました。例年、来賓としておいでいただいていた地域の方々にもご遠慮いただき、在校生の参加もなく、卒校生とその保護者、教職員だけという非常に限定した形での実施となりました。

卒業生に未学習はなかったものの、在校生には最大で2週間程度の未学習部分が次年度へ持ち越す形となりました。

当初、春休みまでの休業を計画したものの、県内の感染状況等を勘案し、前倒して学校再開を決定したことにより、学習の遅れや年度末休業期間での過ごし方や家庭学習については、指導を徹底することができました。

全国的にみると、休業による影響は最小限にとどめることができた地域であるものの、行事の中止や未学習部分、友達同士のコミュニケーションなど、本来、学校で学ぶことのできるはずの体験や活動が制限されたことは、大変残念であり、児童生徒には申し訳ない気持ちで一杯です。

冒頭に示したように、南部町教育委員会は「第Ⅱ期教育振興基本計画」及び新たな「教育に関する大綱」の実現に向け、国や県の方向性を注視しつつ、教育の「不易」と「流行」を鑑み、積極果敢に取り組んで参りました。

以下、重点施策として取り組んだことについて述べることにし、詳細については、教育方針の項目に従って記述した表をご覧ください。

なお、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症による様々な影響を払拭できるような取り組みが充実できることを願い、令和元年度の教育行政の点検評価の総括といたします。

「地域とともに歩む学校づくり」の基盤となっているコミュニティ・スクールの取り組みでは、小中一貫した子ども像を掲げる中学校区の運営協議会の設置を進めるとともに、「まち未来科」の取り組みでは、保小中10年間の学びの集大成として「まち未来会議」を位置付け、しっかりとした現状把握の上に立った中学生の視点による提案を実現するために、関係所管課との連携やその予算化につながるように、町行政への反映の仕組みを検討しています。

標準学力調査（年2回）の結果を地教委も学校と一緒に分析し、課題を解決する一つの手法として、これまでも取り組んできた協同学習を軸に置きながら、授業改善を意識した学校運営を推進する中で、校外からの講師招聘も校長戦略予算で行うなど、管理職のリーダーシップが高まりました。

さらに、日本学術振興会科研グループとの共同研究による第2次学習環境調査は最終年度となり、学びの質や身についた力など、各学校の課題を把握し、課題解決の糸口としています。

プログラミング教育については、パソコン整備を進めて環境を整えるとともに、プログラミング的思考の具体的なイメージを捉えることに苦戦していることから、GIGAスクールの導入に向け、担当教員を核とした会議を重ねているところです。

教職員の時間外勤務に係る適正管理の本格実施に向け、業務アシスタントの配置や毎月の時間外の分析などに取り組みましたが、時間外勤務の個人差が顕著となり、抜本的な解決には至らず、引き続きの大きな課題であります。

福祉と教育に跨ることとして、保育園の所管課である子育て支援課が所管していた保育の質の向上について、教育委員会が所管することによって研修や評価の充実を図り、その指導のために幼児教育（保育）専門員を教育委員会事務局に2名配置したことにより、保育園の研修への考え方等、進展が見られました。

社会教育では、さいはく分館の老朽化に伴う複合施設建設について、新年度は再び教育委員会が所管することとなり、基本設計を基にした詳細な実施設計が完成しました。地方創生の補助金の関係で、社会教育施設だけではなく多面性を持った施設であることから、今後は、実際の運用に向けたさらなる議論が求められているとともに、広く町民への広報の充実が喫緊の課題であります。

高校生サークル及び新☆青年団の活動は、町内外に周知され、かなりの回数の活動があり、今後は、高校生や青年自身が主体的に関わることに主眼を置き、指導は減らし、支援を充実させる方向を明確に示しました。

また、社会スポーツの大きな課題であった町体育協会のあり方について、スポーツ少年団に続き、令和3年度を目途に総合型地域スポーツクラブ「スポnetなんぶ」への移行の道筋をつけることができました。

学校教育と社会教育に跨ることとして、人権教育では、「みんなの人権意識調査」の実施と分析を行い、「部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくす総合計画」の改訂の基礎的資料を得ることができました。さらに、保・小中一貫人権教育プログラム「ミカエルプログラム」の策定が完了し、学校における系統的な人権教育がスタートしたところです。

以上、学校教育と社会教育を両輪として、生涯学習社会の概念の元、コミュニティ・スクールを基盤に「地域とともに歩む学校づくり」を進めつつ、社会教育サイドでは、県内随一の活発な社会教育委員を中心に、高校生や青年をキーパーソンとして育て支え、まちづくり人づくりに取り組んでいるところです。

【教育行政施策の点検・評価に関わる委員意見に対する教育長所見】

事前だけでなく、当日も多数のご質問やご意見、ご提言をいただいたことに感謝申し上げますとともに、南部町教育への強い期待や励ましと受け止め、一層の充実に努めてまいります。

当日の点検・評価委員会の中で取り上げられなかったご質問やご意見等も含めて、報告書ではすべての項目についてお答えをしております。

【学校教育】

- コミュニティ・スクールの取り組みを中学校区として保小中の連携を充実させるとともに、地域と協働した「まち未来科」の学びを充実・発展させ、「地域とともに歩む学校づくり」を進めます。
- 学校における学習環境の充実に向け、学習支援員や外国語指導助手（ALT）をはじめとする人的充実を図るとともに、パソコン整備等、ハード面での整備も進めます。
- 不登校児童生徒数は数年前より再び増加傾向にある中で、教育支援センター「さくらんぼ」をはじめとする様々な居場所での学力保障や社会性の育みを、個々の状況に寄り添った新たな一手も含め、ご提言もふまえながら対策の充実に努めます。
- 保護者との密な連携を基に丁寧な食物アレルギー対応に取り組みつつ、安心安全な給食の提供に努めるとともに、食育の推進を図ります。
- 支援を要する児童生徒及びその保護者への対応については、インクルーシブ教育、家庭教育支援、特別支援教育の充実等、SSWをはじめとして関係者のコーディネートによる福祉との連携も図りながら、多面的な取り組みを進めていきます。

【社会教育】

- 複合施設の建設により多くの町内外の人々の交流の拠点が生まれることから、公民館と図書館がそれぞれの役割を融合させ、本町における社会教育の新たなスタイルの確立をめざします。
- 図書館については、図書館運営協議会に諮りながら二つの図書館それぞれの新たな特色づくり等、これからの図書館に求められる姿の実現に向け、施設の運営改善に取り組みます。
- 高校生のサークルや新☆青年団の地域活動は広がりを見せ、ずいぶん認知されていますが、一方でその自主自立への道筋をつける仕掛けに取り掛かります。さらに、子ども会育成連絡会や地域振興協議会を単位とする小・中学生の組織化(団体育成)は青少年教育の重要かつ新たな課題と認識しています。
- 金田瓦窯跡や法勝寺電車、オオサンショウウオをはじめとする里地里山の自然、祐生出会いの館等、文化財の保護については、文化財保護審議会での指導や助言のもとに、その保存と活用を進めています。

- 生涯スポーツの振興と併せて、「スポ net なんぶ」への体育協会移行については一定の筋道ができましたが、中学校の部活動のあり方については、部活動指導員や外部指導者との調整や人材確保等、引き続き検討すべき課題であります。
- 差別解消三法の周知徹底は喫緊の課題であり、新たな総合計画の策定と並行して啓発強化に取り組みます。人権学習については、町民の方々からの評価もいただいておりますが、より多くの方々に自らのことと認識できる人権学習の在り方を考えていきます。

【事務局】

- 社会構造の変化やICTの急激な進化に伴い、子どもから大人までが情報化の次の社会といわれる Society5.0 を生き抜くために、情報に振り回されることなく、情報を取捨選択し、正しく活用していく力はすべての世代に必要な力と考えます。
- 学校教育では、GIGAスクール構想の前倒しにより、高速ネットワークの整備とともに児童生徒一人一台の端末整備に取り組みます。
- 多様な教育課題に取り組み、時代や社会の変化に対応するため、社会教育主事や指導主事、司書や学芸員等、教育的専門職の配置・育成に継続して努めます。
- 社会教育の幅広さゆえの見えにくさがありますが、社会教育の重要性が見直され、期待されているこの時期に、社会教育と学校教育それぞれの役割を明確にしたうえで、それらの融合を視野に、個々の子ども達の未来を拓くとともに、町づくりや地域づくりに資する人材育成に、教育行政の役割を果たしていきます。